

質 問 「高取町の小中学校の現状と今後の取り組みについて」

昨今、小中学生の学力低下や体力の低下、規範意識の低下が問題視されておりますが、高取町の小・中学生の現状はどのようなものでしょうか。

また、少年犯罪の低年齢化、いじめ、校内暴力とうについて、現状をお知らせ下さい。

小・中学校の現行における問題点や課題についてお知らせ下さい。

回 答

高取町の小中学校の現状と今後の取り組みについて

1 小学校の現状

育成小学校と高取小学校が統合して今年は、4年目を迎えています。地域、保護者の皆さん方のご理解とご協力によりスムーズに統合いただきました。感謝申し上げます。

今は、児童数が倍増し、運動場いっぱい元気な駆け回る活気あふれる学校になりました。また、静かに、落ち着いて学習にも取り組んでいるため学力も向上しています。

統合の条件であった、校舎及び体育館の地震補強工事も、昨年度実施した体育館の工事については、工期が延びて大変ご迷惑をおかけいたしました。本年度実施の校舎棟については、比較的スムーズに進めていただき、ほとんど完成に近づいていて、予定しておりました10月末までには、全て完成の予定です。

学校の基礎づくりは、ある程度できましたので、これからはこの基礎の上に立って、歴史づくりに尽力し、地域の教育施設の核として発展するためにも地域の皆さん方のお力をお借りして参らねばならないと考えているところであります。

2 中学校の現状

数年前までは、「授業に出ない生徒、授業が成立しない状況、生徒間暴力、他校生来校」、更に「不登校生徒、いじめ、学級崩壊、保護者からのクレーム」など日常茶飯事でありました。しかし、今では、学校、PTA、保護者の方々のご尽力により、こうした状況は払しょくされて、学校らしい学校になりました。これも生徒はもちろんですが、保護者、地域の方々のお力添えと地域の方々のボランティアによる「学校環境改善への取組」をはじめ、教職員が結束して「これではあかん、何とかしよう」とする意識の変革から生まれてきたものと思っています。厚く感謝を申し上げます。

学習環境の変化で、生徒は何事にも一生懸命取り組めるようになってきました。部活動も徐々に力をつけて県内の大会で活躍できています。また、学習の面でもしっかり学習できるようになり、学力の向上も顕著であります。

3 小・中学校の現行における問題点や課題

全国学力調査の結果などによりますと、本町の児童生徒は、学力はしっかり身につけてくれています。生活面や体力面でやや心配な面があります。特に、生活面では、「孤食（一人での食事）や就寝時間が遅い」とか「約束やルールが守れない」、「家の手伝いをしない」と云ったこと。また、体力面では、中学校で「筋力」、「柔軟性」が低く、運動中のけがにもつながっているものと考えられます。幼少期からの体力の強化が望まれるところでもあります。

こうしたことについて学校では、個々の子どもたちに粘り強く指導をしていますが、いき届かないところもありますので、次のような点についてはご家庭のご協力もお願いいたしたいと考えています。

- ・子どもと話す時間を増やしてください。
- ・家族の生活リズムを整えてください。
- ・家庭での子どもの役割をつくってください。
- ・社会のルールを子どもたちに教えてやってください。
- ・外遊びをさせてください。

4 少年犯罪の低年齢化、いじめ、校内暴力等の現状

少年犯罪は、ほとんど見られません。

いじめは、各学校において、今は「ない」と答えています。しかし、目に見えない所で起こる可能性もあります。過去には、子どもたちの登下校の中で、いじめが行われ、「見守り隊」の方からの情報で学校が知り、関係者が対応して、大きくなる前に対処できたこともあます。学校の中だけではなく、外でも考えられますので、学校の教職員は広くアンテナを張り、未然に察知できるよう努力してまいります。できるだけ多くの方々の目で見守ってやっていただきたく思います。

また、昨今インターネット、携帯電話等の情報機器で、個人や学校を誹謗中傷する書き込みや人権侵害等も陰湿になるとともに増加もしていますので、県教委の検索システム（ネットパトロール）等の情報もいただきその対応にあたっていますが、今のところ事なきを得ています。

校内暴力につきましても、児童や生徒同士のトラブルとしての「いさかい」等はないわけではありませんが、学校の適切な指導と処置で大きくなる前に対処できています。

教育委員会の事務局といたしましても、不登校や問題行動を防止するための「適応教室」を、3年前までは行っていましたが、現在はそれを必要としなくなっています。今後必要に応じて対応してまいりたいと考えています。

また、不登校、いじめ、虐待などに対応するため、児童、生徒、保護者、教職員を対象とした臨床心理士による「教育相談」をリベルテホールで実施しています。多くの方々が御相談になられ、大きな問題に発展するまでに対処できています。ぜひ、気軽にご利用いただきたいと思います。

5 町教育委員会として考えていること

本町の教育スローガンとして、『郷土に誇りを持ち「知・徳・体」調和のとれた社会の一員として、自律できる人づくり』を掲げています。

「どの子どもも安心して登校できる学校、保護者が信頼して登校させられる学校」をめざ

して教職員は頑張っています。

子どもたちは、自ら進んで何事にも取り組めるよう児童会活動、生徒会活動に力を入れて学校で指導していただいています。学校と教育委員会はこれまで同様連携を密にして進めて参りますが、地域や保護者の皆さんのお力をお借りしなければならないことも多くあります。これまでも幾多のお力をお貸しいただき、多くの場面で大きな成果を収めていただきましたが、これからも学校の様子を見ていただくためにも学校を気軽に覗いていただき、子どもたちの様子も見てやっていただければ大きな力になると思っています。また、地域におきましても、子どもたちに気軽にお声をかけていただきまして、挨拶のできる習慣形成にもご協力をお願いいたす次第であります。

さらに、将来の高取町を担ってくれる生徒の育成のため、学校教育の内容はもちろんですが、学校環境の整備にも力を入れて参りたいと考えています。そのために、小学校は、本年度で地震等に安全、安心な環境は出来あがりませんが、引き続き中学校の安全、安心確保のため地震補強工事に向けて、本年度2次診断を行い、今後、実施のための設計へと計画的に進めてまいる所存であります。